

事例紹介

CI-NET 導入経緯と現状の課題

平成24年2月24日

五洋建設株式会社

購買部 大野 誠司

目次

1

CI-NET導入経緯

2

購買部門の導入～展開～現状

3

現状の課題と今後の展開

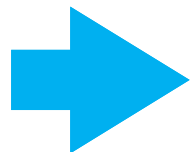
1. CI-NET導入経緯

1) 導入検討

CI-NET導入条件・機運(社内外)の進展

社内:事務処理業務集中化の取り組み
において注文書業務がシステム化

社外:CI-NET取り組み企業の増加
ASPサービスの普及



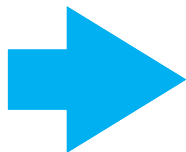
CI-NET導入に向け具体的検討へ

1. CI-NET導入経緯

2) 検討内容・取組方針

社内： 対象範囲（利用者・業務）
導入の容易さ・効果

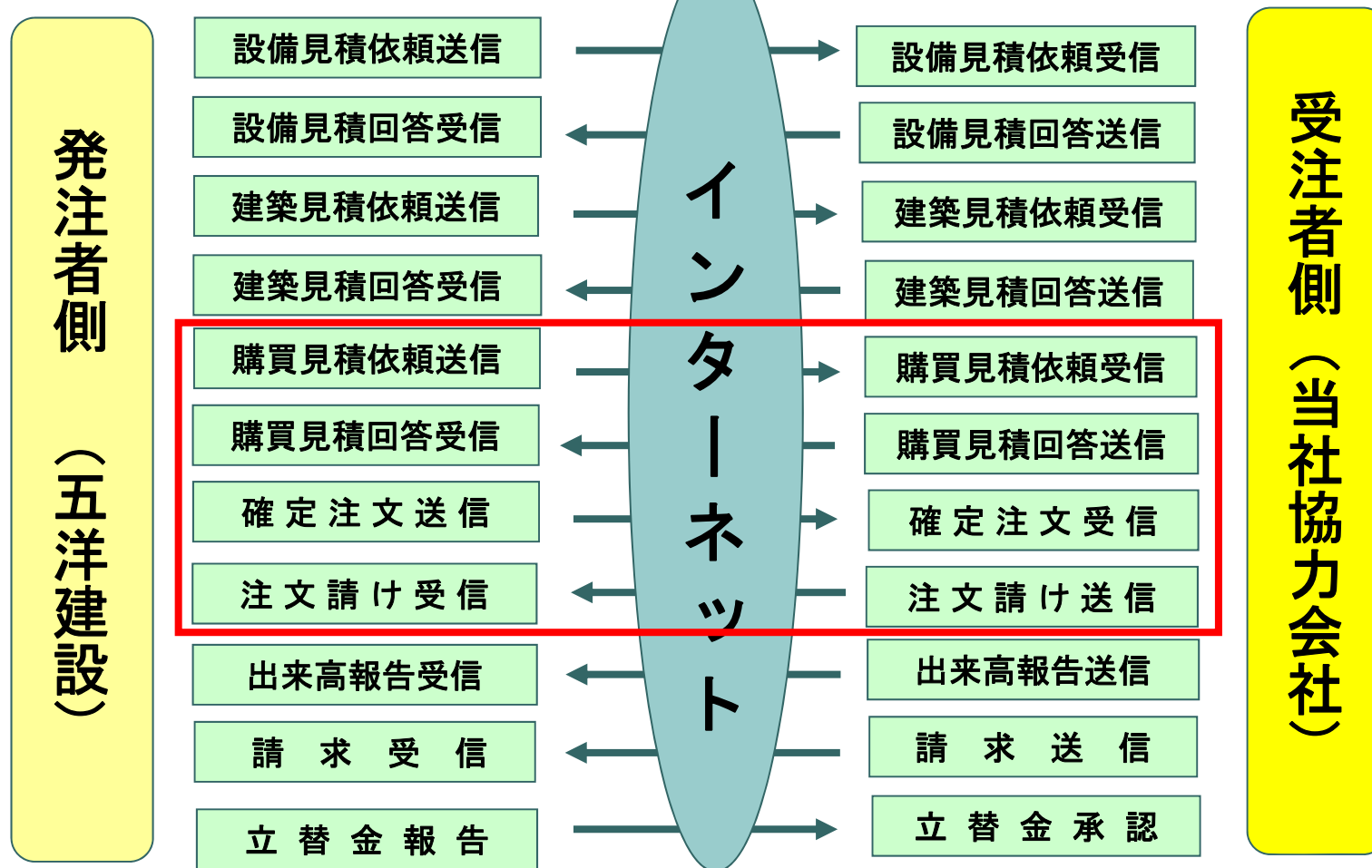
社外： 協力会社への周知・依頼



購買(資材調達) から着手

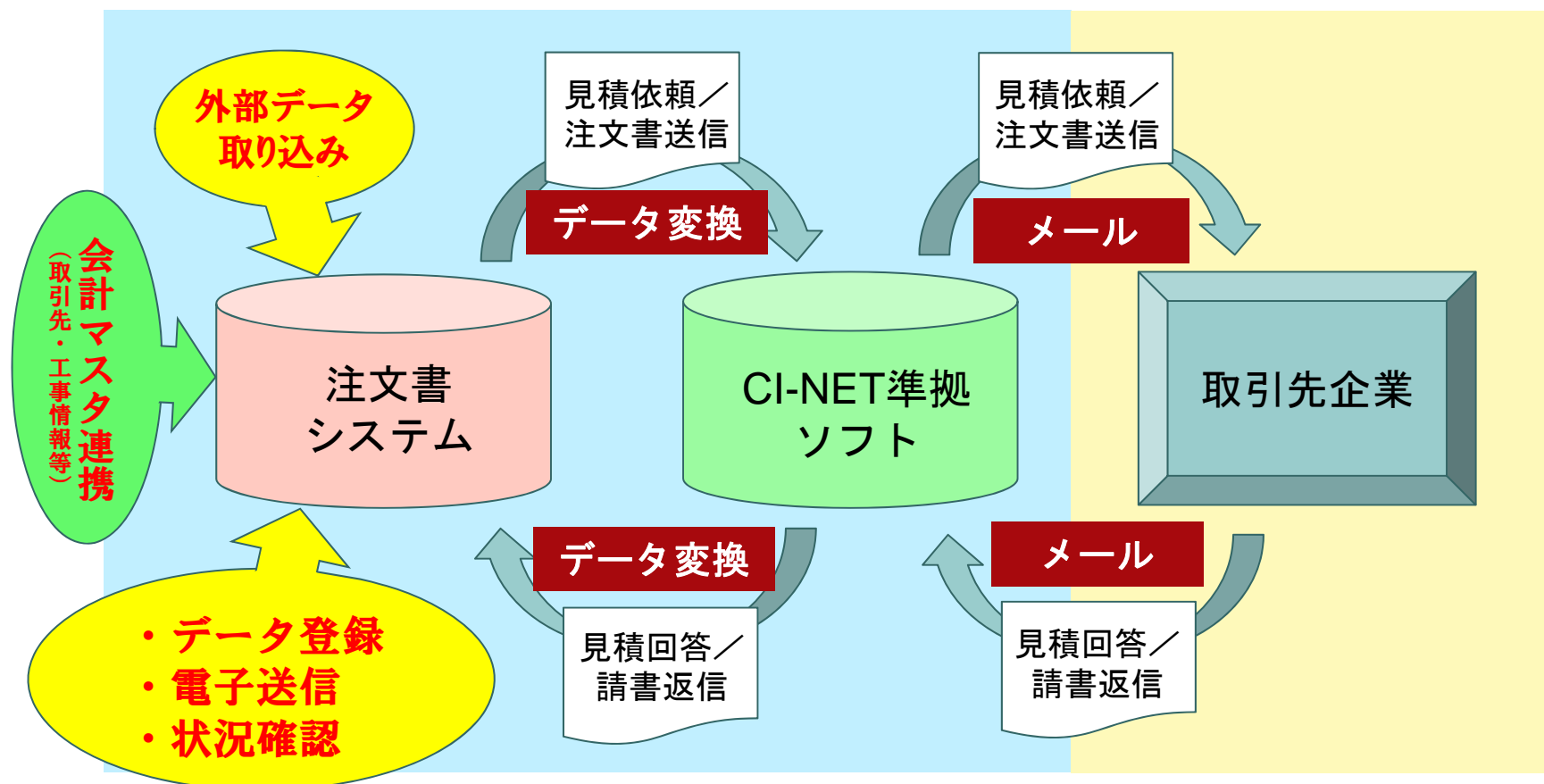
1. CI-NET導入経緯

3) 対象範囲



1. CI-NET導入経緯

4) 社内システムとの連携



1. CI-NET導入経緯

5) 検討～運用開始スケジュール

項目	2005年度	2006年度	2007年度
■導入検討 検討開始・方針決定			
■導入手続き 説明資料作成・説明 稟議手続き・承認			
■システム導入 システム・機器調達 システム構築・テスト			
■システム開発 仕様検討・決定 システム開発・テスト			
■書類整備 協定書・マニュアル・ 手続きフロー作成			
■協力会社契約 第一弾業者選定 契約手続き			
■運用開始			
■協力会社契約 第二弾業者選定 契約手続き			
■業者拡大説明会 説明会準備・実施			

2. 購買部門の導入～展開～現状

1) 導入・展開状況

2006年10月～

協力会社10社を対象に全店購買部導入

2007年10月～

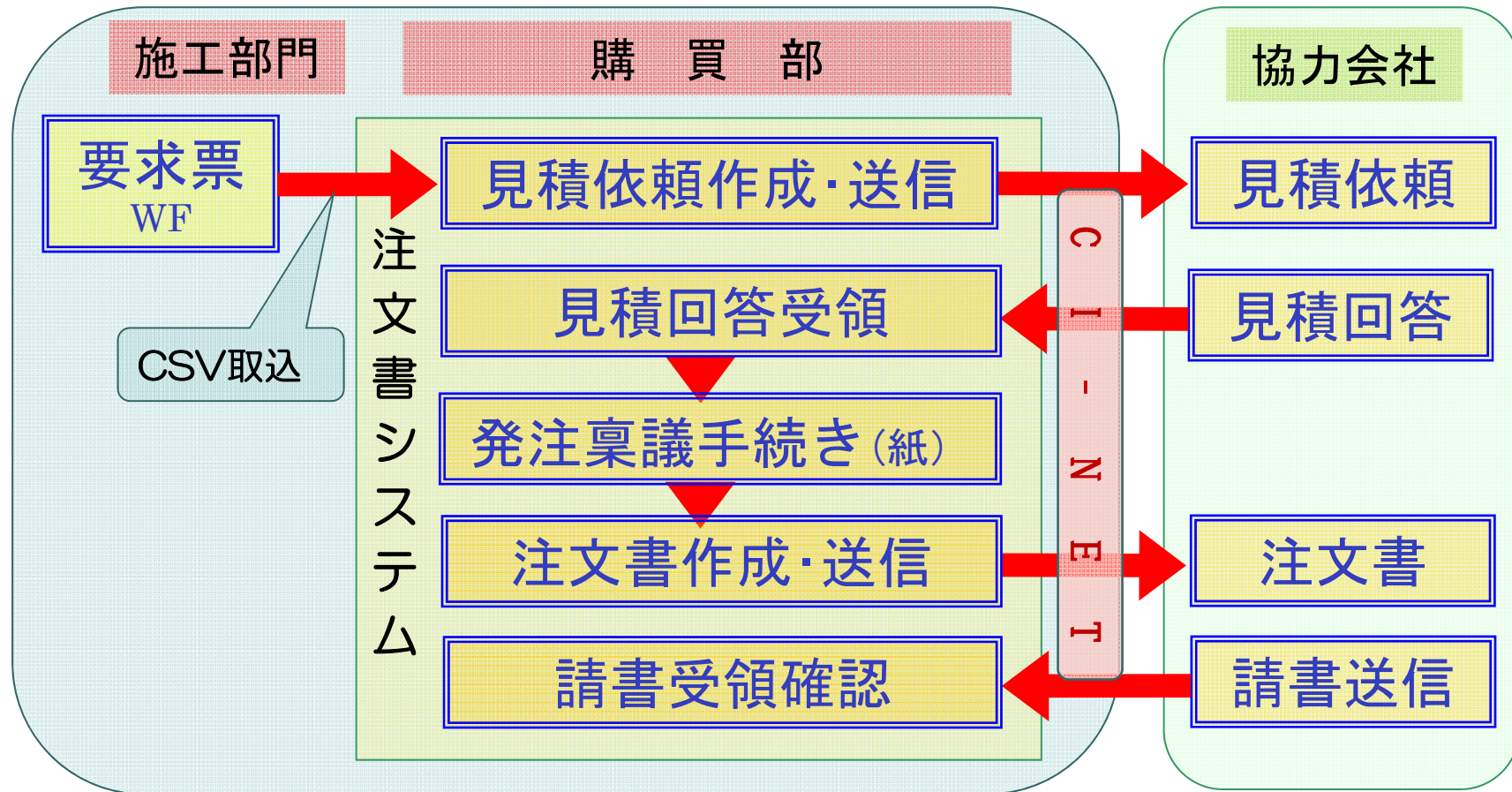
100社導入を目標に説明会を実施（東京・大阪・九州）

2009年4月～

購買契約の電子取引率50%以上を目標に
設定し展開

2. 購買部門の導入～展開～現状

2) 購買部におけるCI-NET業務フロー



2. 購買部門の導入～展開～現状

【注文書システム入力画面】

注文書作成

ファイル添付 登録 注文内訳書作成 クリア 発注票議呼出 前画面

日作成

● 現場扱 ● 購買扱(材工) ● 購買扱(資材)
 ● 請負契約 ● 単価契約 ● 売買契約 ● 買戻特約付契約 ● レンタル・リース

JV発注

注文請者 取引先No. 業者名 注文No. TESTJIMUSHO - 813 01

注文者 検索 A0345806 TEST商事
 検索 東京都文京区後楽2-2-8
 五洋建設株式会社

件名 テストサン
 異形棒鋼

代表工種/品目 検索

注文内訳書作成

行複写 行移動(↑) 行移動(↓) 行挿入 最下行追加 登録 削除 前画面

発注予定先 TEST商事 注文No. 813-01
 工事名称 テストサン 予算金額 19,000,000
 件名 異形棒鋼 発注予定 18,700,000
 予算差異 300,000

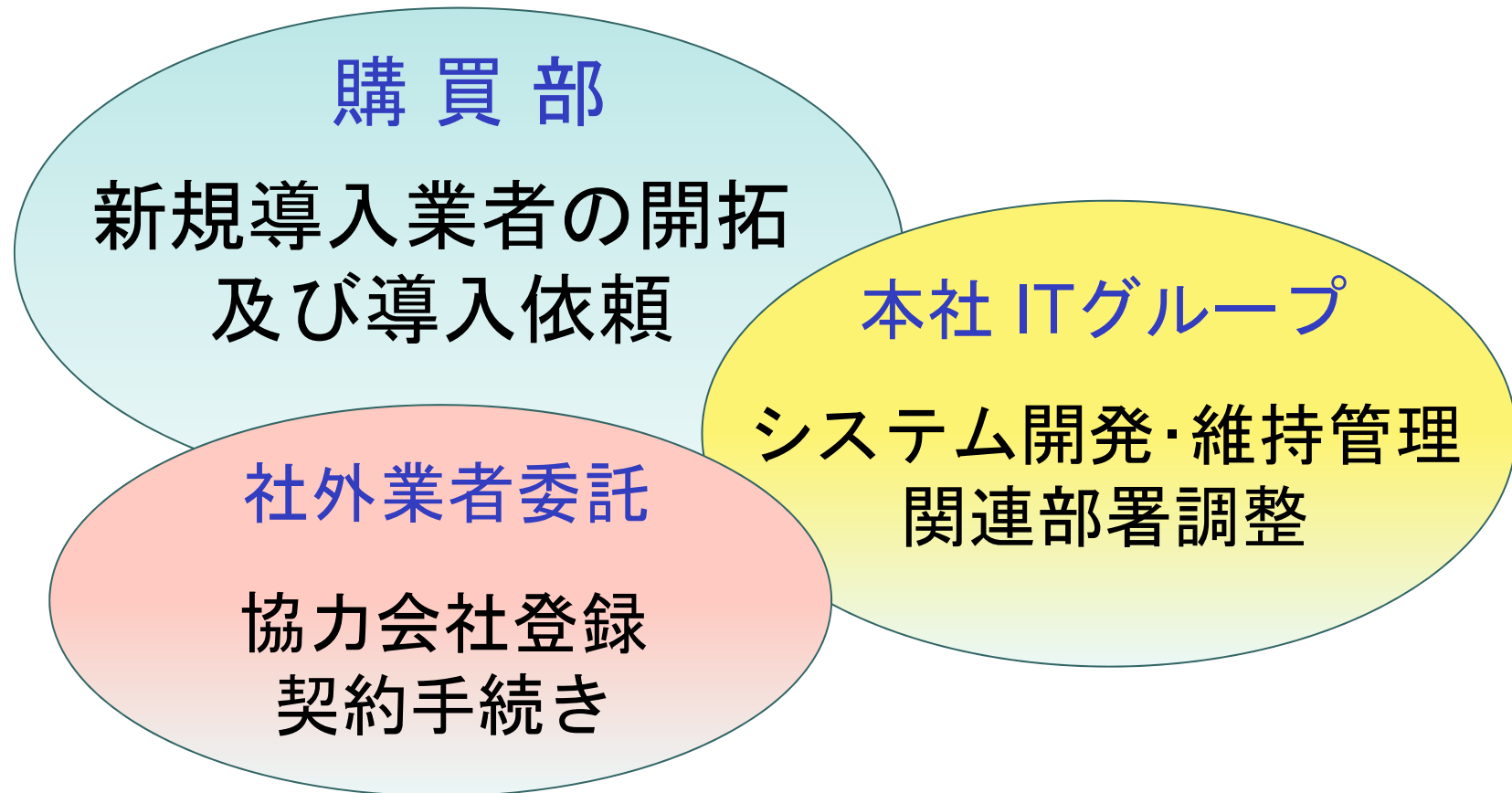
品目コードを選択して入力

資源名/形状・規格/単位	予算金額 数量/単価/金額	発注予定 数量/単価/金額	予算差異(予算-発注) 数量/単価/金額	メーカー/その他
検索 0151 異形棒鋼	100 t	100 t	100 t	
SD345 D10	64,000 円	63,000 円	1,000 円	
001 総括	t 編集 6,400,000 円			検索 検索
検索 0151 異形棒鋼	100 t			
SD345 D13	63,000 円			
002 総括	t 編集 6,300,000 円	6,200,000 円	100,000 円	検索 検索

メーカーコードを選択して入力

2. 購買部門の導入～展開～現状

3) 運用・支援体制



2. 購買部門の導入～展開～現状

補足資料：協力会社への案内（当社ホームページ）



The screenshot shows the homepage of Penta-Ocean Construction Co., Ltd. with a navigation menu and a 'What's new' section. A red arrow points from the '取引会社の皆様へ' (To our trading partners) link in the footer to a detailed notice on the right.

電子取引の開始申し込みについて

当社との間で電子取引を開始する際は下記の指定書式にてお申し込み下さい。
なお、対象となる電子取引システムは次の通りです。

- Inet-Builder(見積調達システム)による見積依頼・回答
- CI-Net(建設業標準の電子商取引システム)による見積依頼・回答、注文・注文請け

[電子取引申込書\[77KB\]](#)

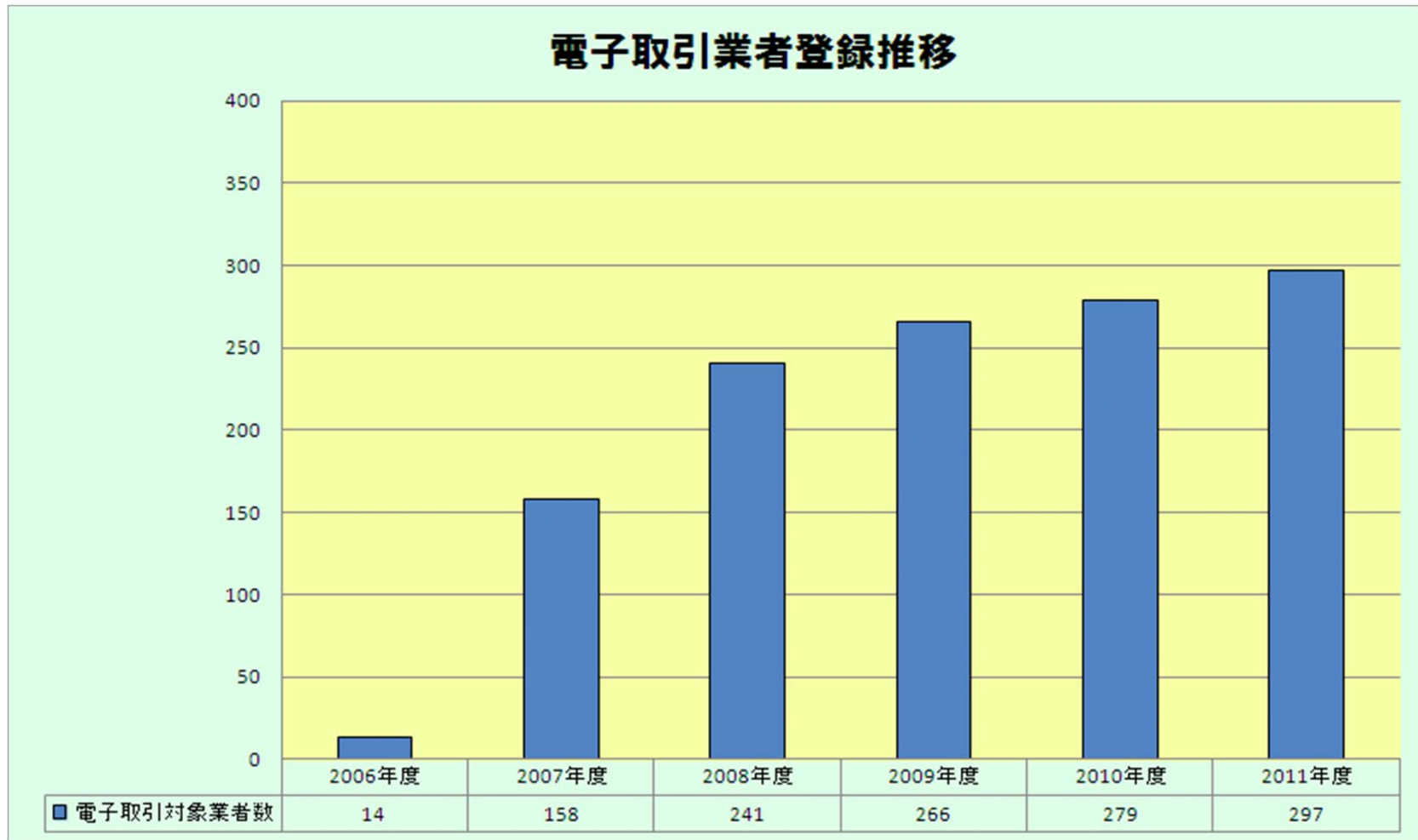
※当社における電子取引の対象は、現在、購買部及び見積調達部扱いの案件のみとなっております。
電子取引お申し込みの際、現在のお取引が電子取引の対象かどうか判断し兼ねる場合は、当社担当者までお問合せ下さい。

お問い合わせ
本社 経営企画部 ITグループ 0287-39-2186

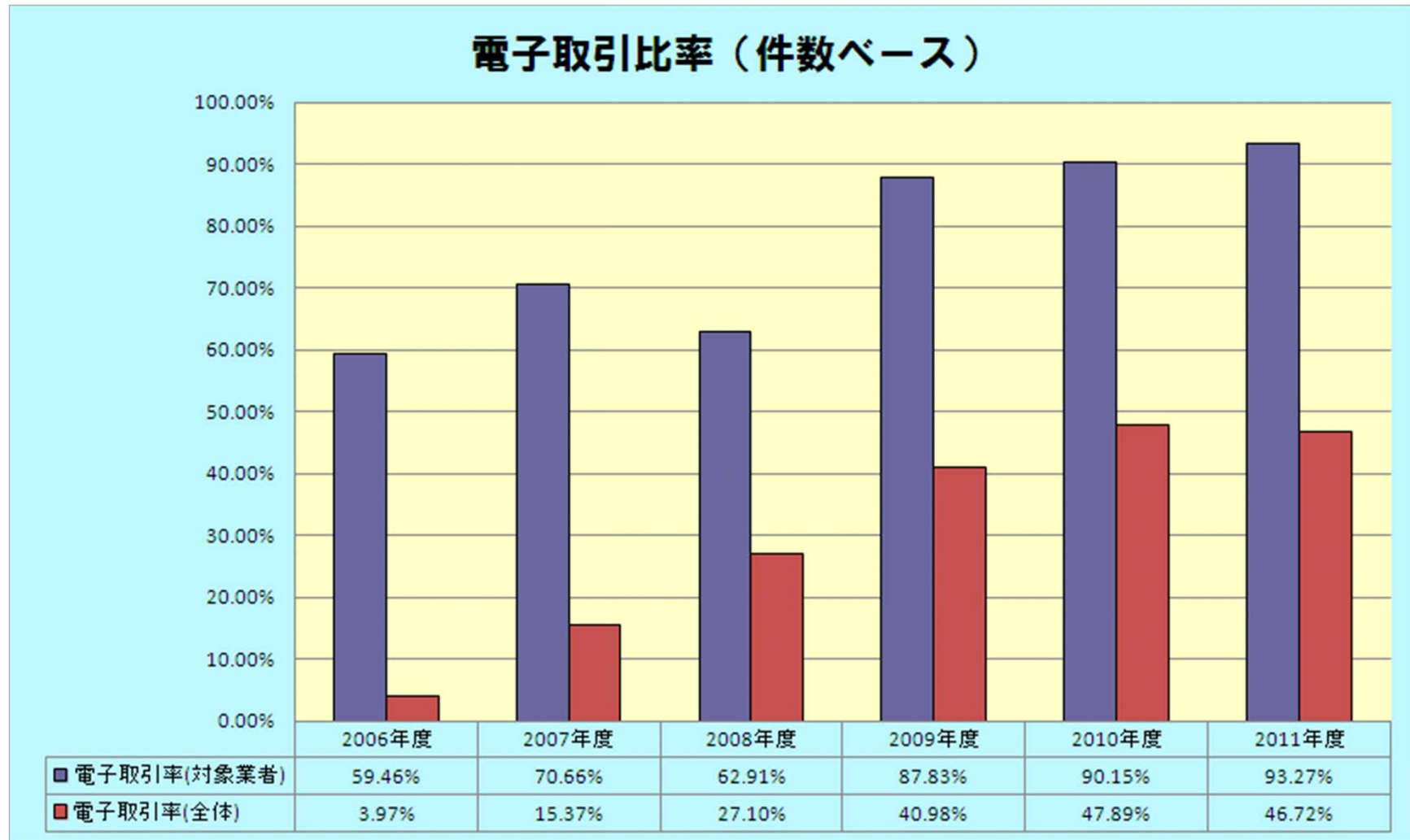
取引会社の皆様へ

2. 購買部門の導入～展開～現状

4) 購買部における電子化状況



2. 購買部門の導入～展開～現状



2. 購買部門の導入～展開～現状

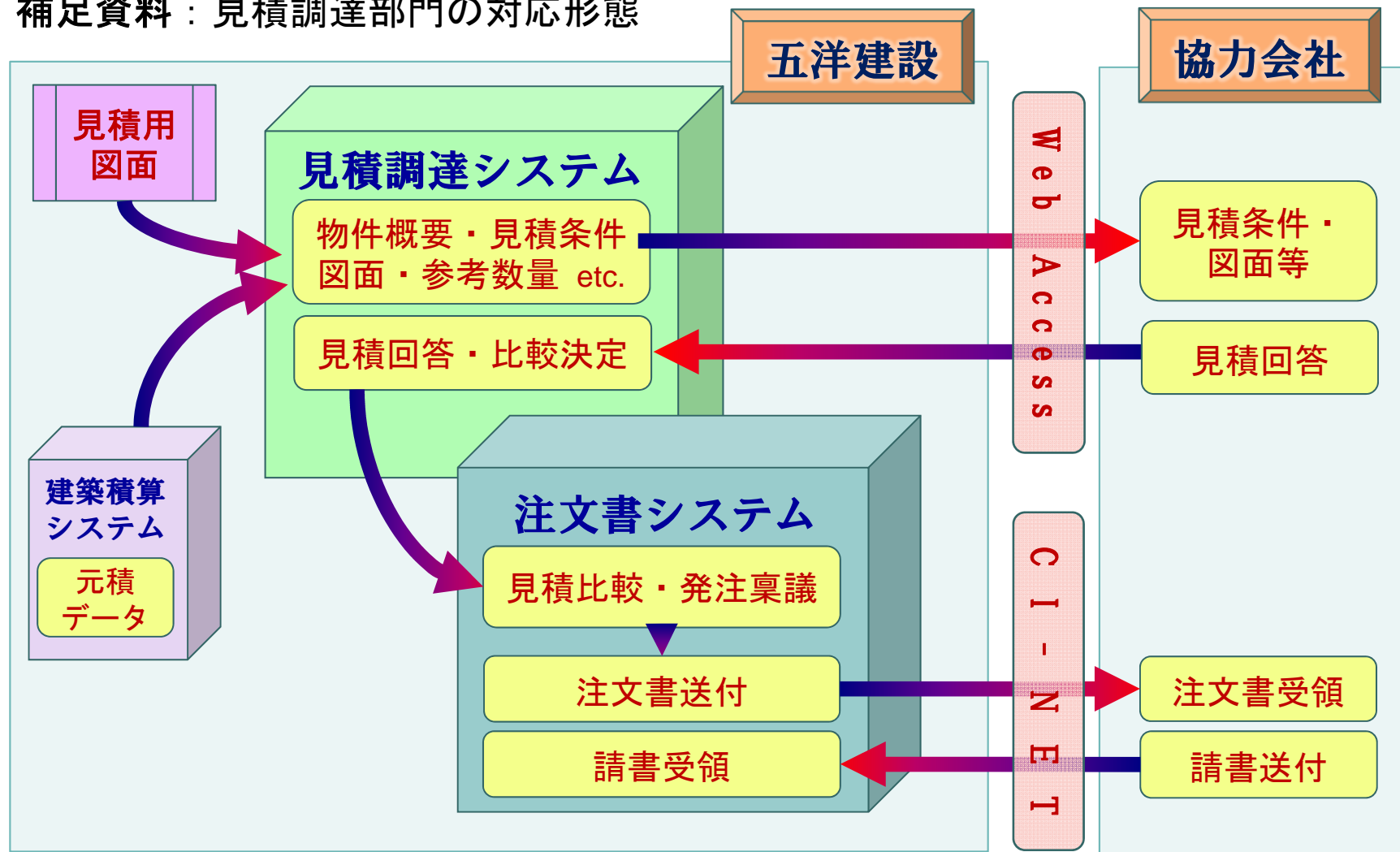
5) 導入メリット

■ 業務の効率化と経費節減

- 注文書、請書の作成手間と紙の削減
- 注文書、請書の郵送手間、郵送費削減
- 注文書、請書の送受信管理が不要
- 関連会社の請書印紙代が不要
- 明細データ入力手間の削減

2. 購買部門の導入～展開～現状

補足資料：見積調達部門の対応形態

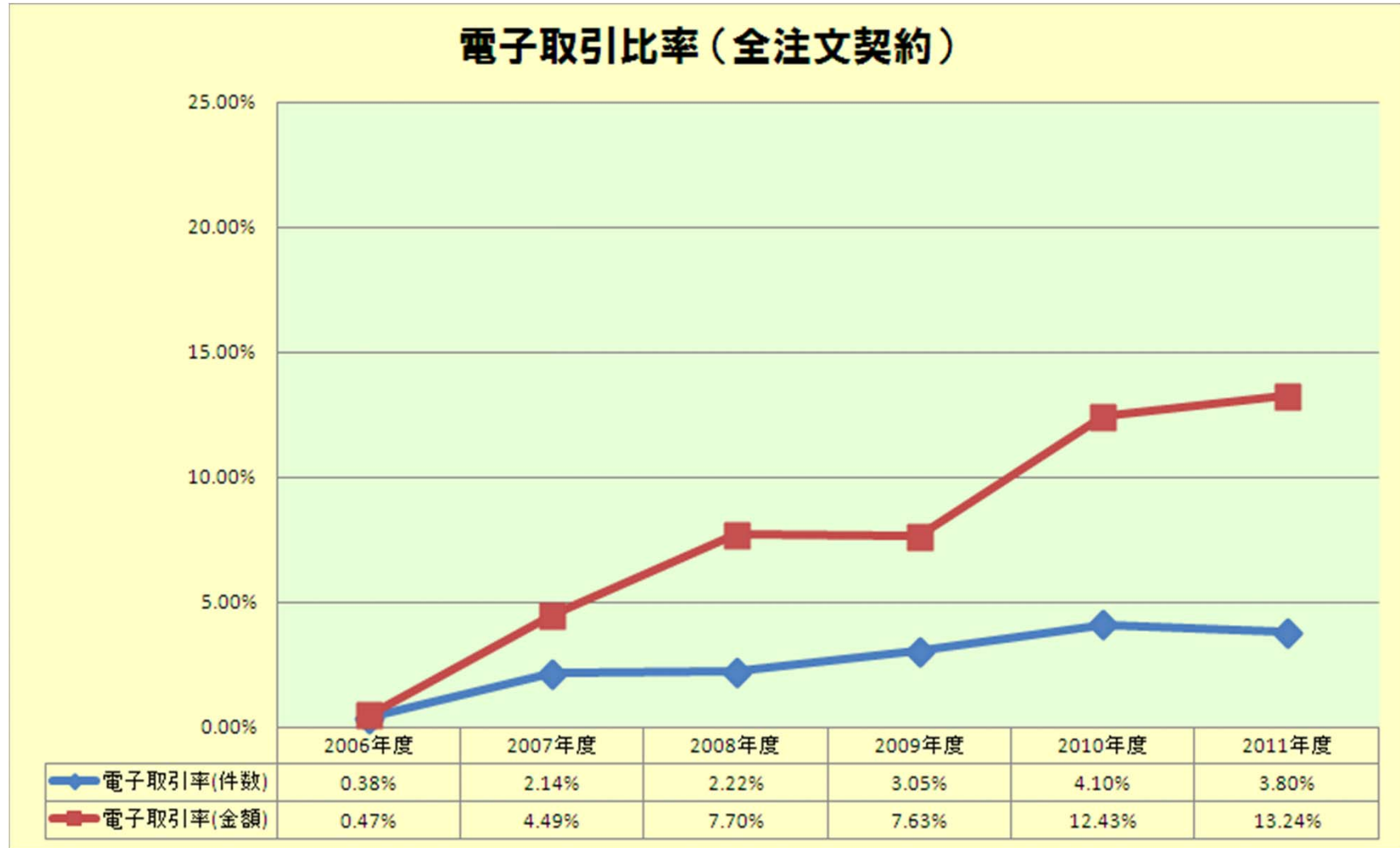


3. 現状の課題と今後の展開

1) 現状の課題

- 地方支店の電子取引率向上
- 社内承認手続きのワークフロー化
- 施工部門展開時の社内対応体制
- 協力会社の拡大・運用サポート

3. 現状の課題と今後の展開



3. 現状の課題と今後の展開

2) 今後の展開

- 電子取引の対象範囲の拡大(請負契約)
- 請負契約購入情報のデータベース化
- 当社グループ会社への展開(一部展開済)
- ASP事業者との連携強化
- 将来に向けた出来高・請求業務の電子化導入の検討

ご清聴ありがとうございました

五洋建設株式会社